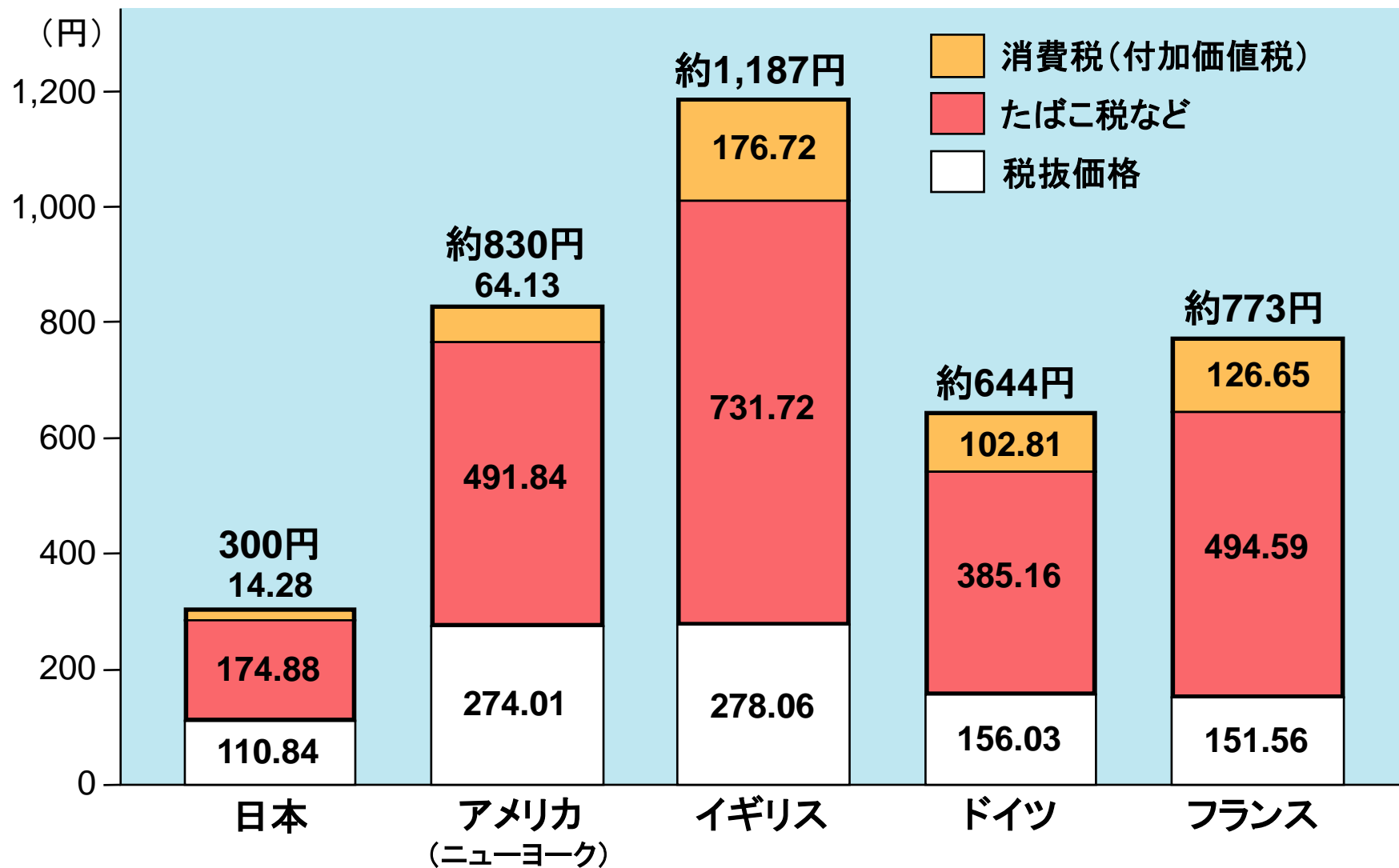
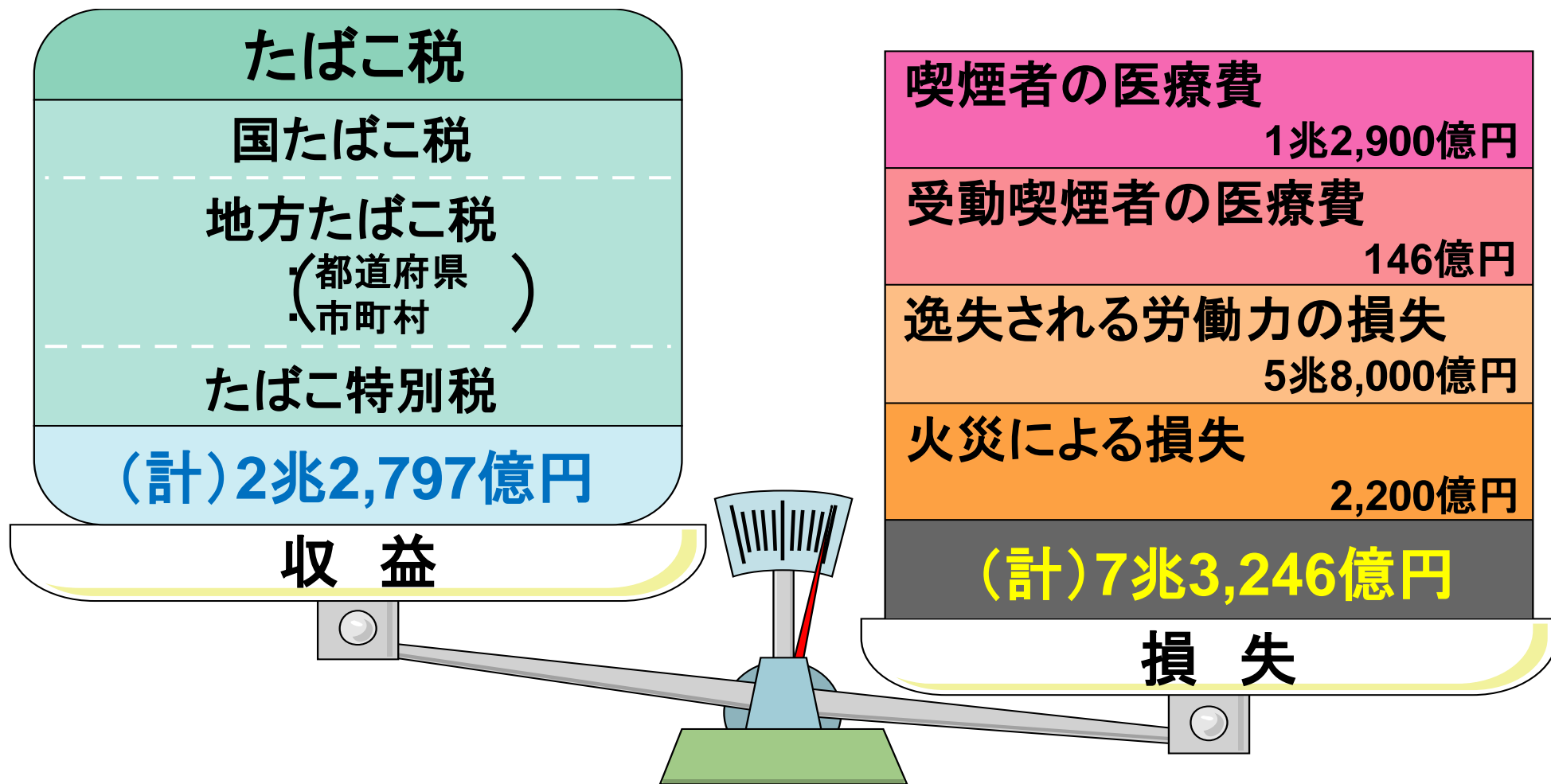


欧米と比較し、異常に安いたばこ価格とたばこ税



財務省資料(価格は2008年7月現在)

たばこ関連税収の2.6倍の医療費等の経済損失



たばこの値上げの意味

- 成人の禁煙を促し、消費量を減らす、青少年の喫煙防止にも役立つ
- 喫煙率の高い低所得層の禁煙を促進し、健康格差を縮めることにも有用
- ニコチンの依存性により税収の増加も期待できる

たばこの価格がたばこの消費に及ぼす影響の推計

価格弾力性を用いた推計

【推計方法】

価格が1%上昇した際に、たばこの総需要量が何%変化するか(価格弾力性)を用いて推計する方法。

(参考) 価格上昇後の消費量 = 現在の消費量 ×
(1 - 価格の上昇割合 × 価格弾力性)

【問題点】

小幅な値上げデータを基に算出されたものであり、大幅な値上げでは誤差が大きくなる。

【結果】

たばこの需要量の変化予測

	価格弾力性		
	0.3	0.4	0.5
300円	100%	100%	100%
400円	90%	86.7%	83.3%
500円	80%	77.3%	66.7%

(参考) 価格弾力性の推計値
0.4 (日本学術会議)
0.49 (大阪大学; 松浦ら)
0.3~0.5(奈良女子大学; 高橋ら)

コンジョイント分析を用いた推計

【推計方法】

たばこ価格の上昇に対する消費者の反応を、たばこの価格以外の要素を含めた精密な質問方法を用いて調査し、影響する複数の要素を総合的に分析(コンジョイント分析)する方法。

【問題点】

調査時にあらかじめ設定した価格以外の価格(例えば320円等)については推計を行うことができない。

【結果】

たばこの需要量の変化予測

	たばこの需要量	自然減少を考慮
300円	100%	93.0%
400円	85.4%	79.4%
500円	73.4%	68.3%

(高橋ら)